

展示した写真の
一部を掲載します。

昭和モノクロ写真で振り返る わがまち **高蔵寺**

2023年6月28日(水)⇒7月9日(日)

① 合併記念パレード

1930年（昭和5年）に町制施行をし、誕生した東春日井郡高蔵寺町は、1958年（昭和33年）1月1日、東春日井郡坂下町とともに春日井市と合併しました。

合併ならびに春日井市制15周年を記念して、町内では仮装をした人々によるパレードが盛大に行われ、大勢の“新市民”がお祝いしました。



1 本町通に行くパレード

先導車には「市制15周年と高坂合併記念」の文字が。

1958年（昭和33年）

（画像提供：松本羊司氏）



2 本町通を練り歩く水戸黄門御一行

1958年（昭和33年）

（画像提供：松本羊司氏）



3 こちらは赤穂浪士と

清水次郎長一家

1958年（昭和33年）

（画像提供：松本羊司氏）



4 “役者”の皆さんと子どもたち

1958年（昭和33年）

（画像提供：松本羊司氏）

② 街並

1900年（明治33年）、中央線（名古屋～多治見）の開通による高蔵寺駅の設置に伴い少しずつ商店街が形成されていきました。

江戸時代からある本町通に対して、中央線開通後に新たにできた新町通は商店街として発展していきました。



5 本町通（郵便局前）

ポストがあるところが郵便局

1929年（昭和4年）頃

（画像提供：高蔵寺公民館）



6 新町通

左側の建物は貸自動車（現在のタクシー）業を営んでいた長縄商会

1929年（昭和4年）頃

（画像提供：高蔵寺公民館）



7 駅前通

1935年（昭和10年）頃

（画像提供：高蔵寺公民館）



8 高蔵寺駅南口

1982年（昭和57年）頃

（画像提供：加藤弘行氏）

③ タマゲキ

高蔵劇場、後の玉川映画劇場。

地方巡業の芝居の興行や映画上映など高蔵寺の人々の娯楽の中心的存在でした。

両親が忙しく、よく姉と共にタマゲキで映画を見ていた少年がいました。多感な時期に、このタマゲキでの体験が後の彼の人生に決定的な影響を与えた——俳優にして映画監督、奥田瑛二さんです。



9 正面ファサード

1961年（昭和36年）

（画像提供：榊郷土出版社様）

「目で見る春日井・小牧」（1992年発行）から転写



10 劇場内部。映画の上映だろうか。

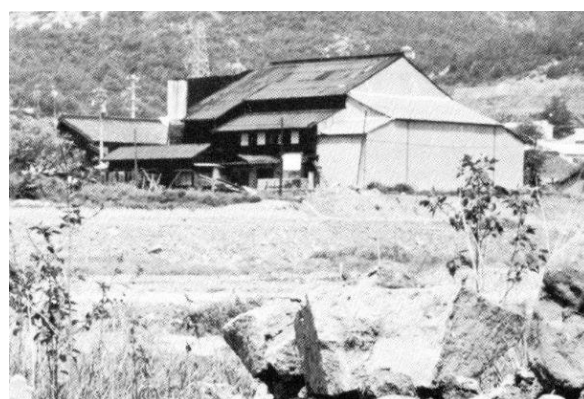
1953年（昭和28年）

（画像提供：加藤弘行氏）



11 地元の有志による芝居上演か。

（画像提供：松本羊司氏）



12 裏から見たタマゲキ
結構大きな“小屋”である。

1972年（昭和47年）

（画像提供：春日井市教育委員会）

④ 東谷橋開通

1958年（昭和33年）、高蔵寺町と名古屋市守山区上志段味を結ぶ東谷橋（とうごくばし）が開通しました。

4月26日には渡初式（わたりぞめしき）が当時の桑原幹根愛知県知事臨席の元、挙行されました。



13 「祝東谷橋開通」の横断幕が。
1958年（昭和33年）

（画像提供：松本羊司氏）



14 桑原愛知県知事（当時）による
テープカット

1958年（昭和33年）

（画像提供：松本羊司氏）



15 神職に続き、愛知県知事、地元の
代表による“渡り初め”

1958年（昭和33年）

（画像提供：松本羊司氏）



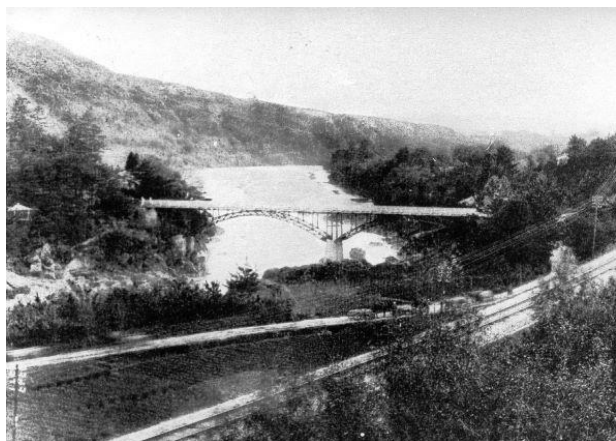
16 高蔵寺町から望む東谷橋

1958年（昭和33年）

（画像提供：松本羊司氏）

⑤ 鹿乗橋

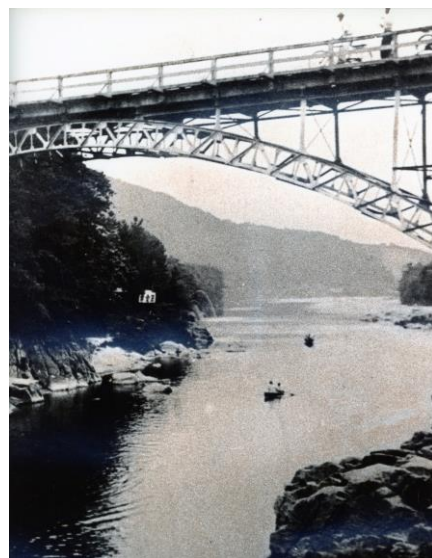
鹿乗橋（かのりばし）は1910年（明治43年）に春日井市と瀬戸市の中の庄内川に造られた鉄製のアーチ橋でした。1947年（昭和22年）には木製の橋板が銅鉄製に改修され、1951年（昭和26年）には老朽化したアーチ部分をコンクリートで巻き立てる改修が施され、現在の形になりました。



17 高座山から望む改修前の鹿乗橋
前方には複線化前の中央線がある。

1950年（昭和25年）頃

（画像提供：高蔵寺公民館）



18 改修前の鹿乗橋

（画像提供：高蔵寺公民館）



19 橋の下流で釣りを楽しむ人たち
1955年（昭和30年）

（画像提供：加藤弘行氏）



20 鹿乗橋から上流（多治見方面）を
望む。

1958年（昭和33年）

（画像提供：加藤弘行氏）

⑥ 仮装するひとたち

タマゲキで芝居を観たり、青年団などを中心に芝居を興じたりすることで、ここ高蔵寺には住民が仮装を楽しむ文化が醸成されたのかもしれませんが。



21 市制20周年パレード
やっぱり仮装している！

1963年（昭和38年）

（画像提供：高蔵寺公民館）



22 白粉（おしろい）を塗って、本格的、
でも、なんだかみんな苦笑い。

1958年（昭和33年）

（画像提供：松本羊司氏）



23 笑顔がステキ！
1958年（昭和33年）

（画像提供：松本羊司氏）



24 五社大明神社で記念撮影
ちょっと、いかつい女形（おんながた）が
ちらほら。

（画像提供：高蔵寺公民館）

⑦ 鉄道～S Lの汽笛が鳴り響く

1900年（明治33年）、中央線（名古屋～多治見）が開通しました。この区間が1966年（昭和41年）に電化するまで沿線では蒸気機関車（S L）の雄姿を見ることができました。

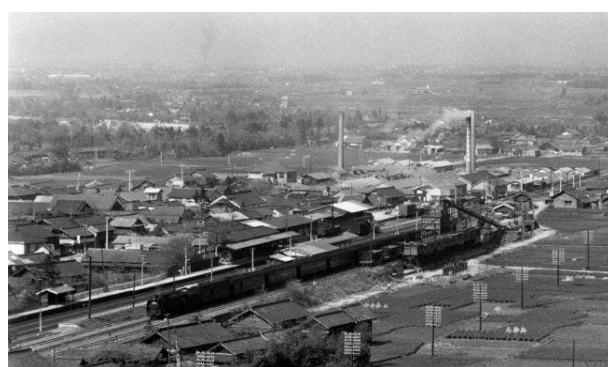
下の2枚の写真には、高蔵寺駅から玉野を通り木附の高蔵寺工廠（こうぞうじこうしょう・名古屋陸軍兵器補給廠高蔵寺部隊〈なごやりくぐんへいきほきゅうしょうこうぞうじぶたい〉）へ至る引き込み線が写っています。



25 高蔵寺駅へ進入する名古屋行き
旅客列車

1962年（昭和37年）

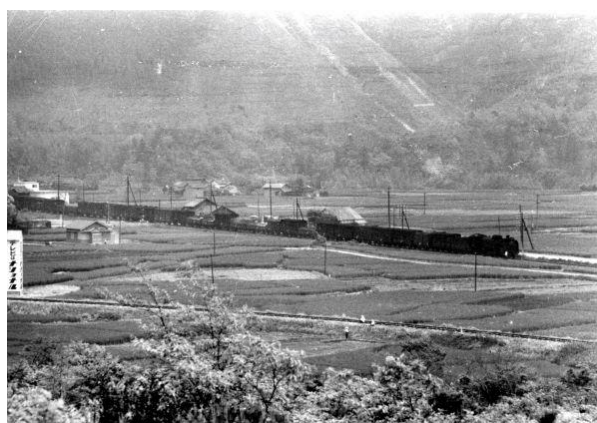
（画像提供：加藤弘行氏）



26 高座山から高蔵寺駅を望む。

1961年（昭和36年）

（画像提供：加藤弘行氏）



27 玉野町付近を行く上りの貨物列車

1957年（昭和32年）

（画像提供：加藤弘行氏）



28 上りの貨物列車

1962年（昭和37年）

（画像提供：加藤弘行氏）

⑧ 農村風景

かつては高蔵寺町でも農村としてのたたずまいがありました。
女性は定番のほおかむりとモンペによる、たくましくも美しい姿です。



29 田植えの風景

(画像提供：松本羊司氏)



30 稲刈り後のひとコマ

(画像提供：松本羊司氏)



31 街角でのおしゃべり
笑顔が絶えません。

(画像提供：松本羊司氏)



32 青年団による秋祭りのおまんとう
1956年(昭和31年)

(画像提供：高蔵寺公民館)

⑨ 町を望む

高蔵寺町を高座山など少し高いところから見てみましょう。

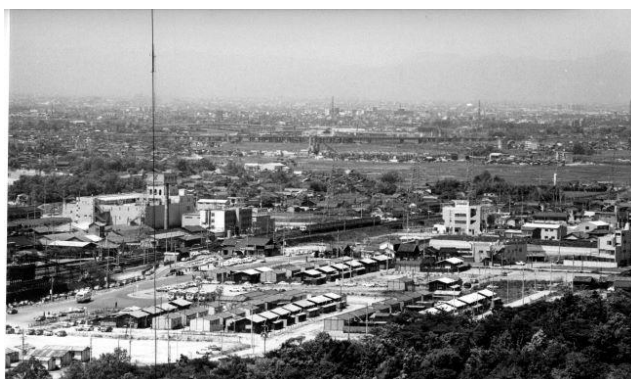
1970年（昭和45年）から1985年（昭和60年）にかけて施行された高蔵寺駅前土地区画整理事業により高蔵寺町の街並は劇的に変わっていきます。



33 高座山から高蔵寺駅付近を望む。

1961年（昭和36年）

（画像提供：加藤弘行氏）



34 高蔵寺駅北側

区画整理に伴う仮設住宅

1974年（昭和49年）

（画像提供：加藤弘行氏）

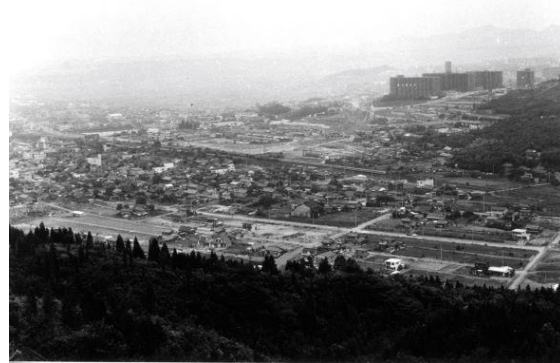


35 高蔵寺町俯瞰

左下にはタマゲキが。

1976年（昭和51年）

（画像提供：加藤弘行氏）



36 東谷山から町を望む。

右手奥に見えるのはUR高座台団地

1976年（昭和51年）

（画像提供：加藤弘行氏）